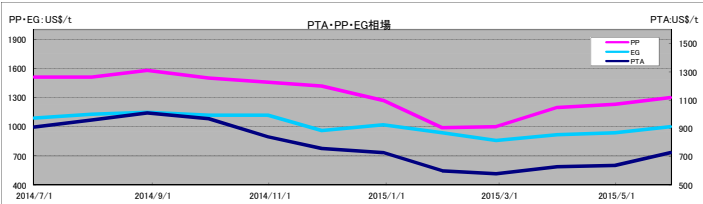


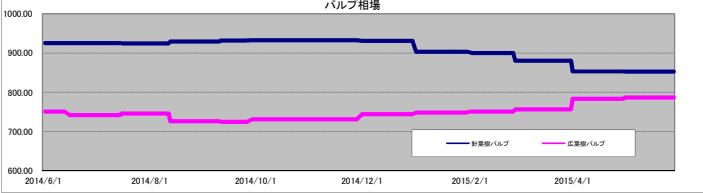
●6月の動き: @119.37円/\$水準で5月をスタート。序盤はイベント待ちで@120円/\$丁度を挟んだ展開。4月の米雇用統計は力強い結果も前月より下修正があり膠着状態が続く。14日にはNY連銀発言を受け一時@121.86円/\$(期間中最高)が売られるもキレム問題での対ユーロの米\$買ひや更に良好な米経済指標を受け、20日には@121円/\$を回復し、月末週に入ると前週末の良好な経済指標や米FRB議長発言から一気に年初来高値を上げ、年内利上げ観測が強まり、米経済指標の好結果も確認すると一気に@124.46円/\$(期間中最高)を付けた。流石に円高の流れが急であつたので本邦要人の審判発言が出るも殆ど効果無く、5月の取引を@124.14円/\$で終える。

●今後の展開: 注目目は変わり引き続き米利上げ時期を巡る話題。節目の@125円/\$を付けるかが注目であったが6/2には一時突破する等利払いの買ひの流れは継続。6月の注目は雇用統計での賃金上昇率の動向。IMFから早期利上げ率制発言等も出ているが、実際に米経済は通貨高下でも堅調さを維持しており、既に年内の利上げ織込みが大半となつている為、多少の調整はあるも円が大きく買戻される展開は考え難い。具体的レンジは前半@122.00~@125.50円/\$、後半@123.50~@126.50円/\$と予想する。



オレフィン価格、アジアで上昇続くも国内は据え置き
東南アジアのポリオレフィンスポット価格は、1月を底に上昇傾向が続いている。5月における足元のスポット価格は、LDPE(低密度ポリエチレン)が前月より前高だった110ドルほど高い1450ドル前後、HDPE(高密度ポリエチレン)が40ドルほど高い1,390~1,400ドル前後、PP(ポリプロピレン)が70ドルほど高い1,300ドル前後で推移している。

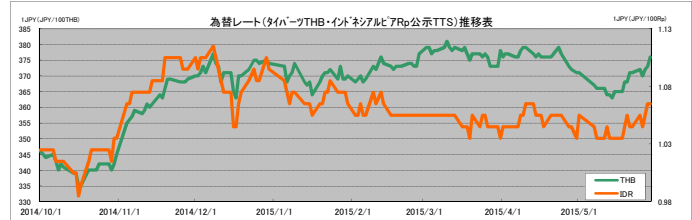
国内のポリオレフィンメーカー各社は、ナフサ・オレフィン市況の下落に伴い、2014年12月に10円程度、2015年2月に10円程度の値下げを実施した。しかし、2015年1月頃に価格低下が底打ちしたことから、4月からはPE、PPとも10円程度が価格が戻ったとみられる。ポリオレフィンのスポット価格上昇は続いているものの、国内メーカーは5~6月に値上げをせず、据え置き量となっている模様である。



王子HD、中継バルブ工業/業務提携と資本提携決定
王子ホールディングスは6月29日、中継バルブ工業の第三者割当引受の実行を決めた。業務提携について、中継バルブ工業との具体的な協議を進めた結果、輸入トップ共同調達に関する合弁会社の設立、高級白紙紙の生産に関する合弁会社の設立、製袋事業における業務提携に関する基本合意書の締結すること。両社の経営資源をより一層互いに活用することにより、投資効率、資金効率のさらなる向上を図ることを目的に、同社との業務・資本提携を実施する。

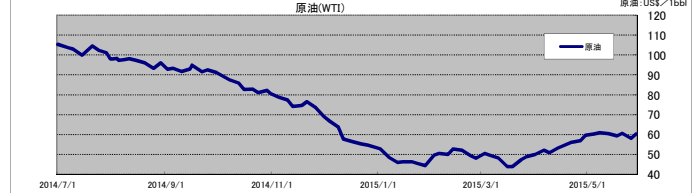
＜不織布トピックス＞
ANEX2015 アジア総布展
アジア国際不織布産業展示会・会議「ANEX2015」が中国・上海の上海世博展览馆にて5月13日より15日までの3日間で開催された。3年に一度開催されるANEXは欧州IDEA、米国のINDEXと並ぶ世界三大不織布展の一つという事もあり、多くの来場者が訪れ、出展者に対し大勢に賛同する者が多く見られた。

＜海外トピックス＞
メコン圏 タイ国境域 貿易拡大で投資続々
タイ東部のメコン川流域域で急増する国境貿易を当て込み、タイ企業が投資を拡大している。大手財閥のTOOグループは中国内陸を含むメコン圏のタイ国境域で急増する国境貿易を当て込み、タイ企業が投資を拡大している。大手財閥のTOOグループは中国内陸を含むメコン圏のタイ国境域で急増する国境貿易を当て込み、タイ企業が投資を拡大している。

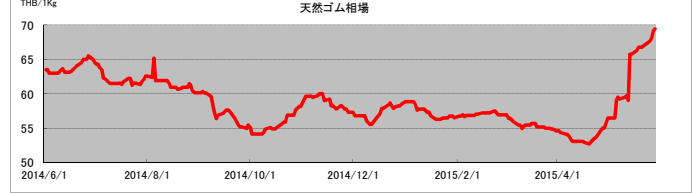


●タイバーツ相場: @33.01THB/\$水準で5月をスタート。1日に32.98THB/\$(期間中最高)を付けた後は雇用統計を代表する米経済指標の堅調さが目立ち徐々に円が買われる展開。中盤に入り株式市場の下落を受け、投資資金の流出→バーツ売りの流れも出たがタイバーツの動き等から巻き返す等@33.50THB/\$を挟んだ推移のまま月末週へ。前週迄の良好な米経済指標やFRB議長発言から(年内利上げ)の観測が強まり2日には@33.92THB/\$(期間中最高)を付け、@33.70THB/\$で5月を終える。6月は利上げ時期を巡り米利上げは際立つ。バーツは未だ通安状態であり、小幅ながらも一段のバーツ安相場の懸念がある。レンジは@33.25~@34.75THB/\$と予想。

●インドネシア相場: @12.967Rp/\$の期間中最高で5月を終える。米雇用統計等を受けRpは軟調に推移すると月中盤に掛けた海外投資家の投資資金流出の流れとなり@13.200Rp/\$を付けるも、このレベルでは調整の買戻しに入り、更に4月買戻り強さが7日には@13.241Rp/\$の期間中最高を付けて、以降は買戻し/需索の米ドル買ひの引合いのまま@13.241Rp/\$で5月を終える。6月も流れは変化無く、口先以外の有効な手が打てないままRp売りが継続を予想。相場は@13,100~13,600Rp/\$と予想する。



印、世界3位の石油消費国に 4~6月期、日本抜く見通し
インドは中産階級の増加により、間もなく世界3位の石油消費国となる見通し。中国の需要が減少する一方、米国の生産は増加し世界のエネルギー供給に差が埋められつつある。国際エネルギー機関(IEA)の推計によれば、インドの石油需要は2015年4~6月期に日本を上回ると予想される。インドの急激な需要の伸びはインドの需要を抜き、わずか5年前には見られなかったシフトが起こる可能性がある。



住友GM、Goodyearとの提携解消を正式発表
住友工業は5月8日、米Goodyearとの提携解消を正式に発表した。タイヤ業界では中国や韓国メーカーが新興国で台頭し、イタリアの名門Pirelliが中国企業を買収するなど変革期を迎えている。Goodyearと袂を分かつことで事業展開の最上段を確保し、独自に世界販売の拡大を目指す。

＜設備・家電トピックス＞
パナソニック、アジアで白物家電の高級機種拡販
パナソニックは27日、白物家電の強化策を発表した。アジアでエアコンや冷蔵庫など白物家電の高級機種を拡販し、同地域(日本を除く)の家電事業の売上高を2018年度に14年度比4割増の7200億円に引き上げる。品質や使いやすさを強みに韓国サムスン電子など世界大手と競争する。

＜金融・ビジネストピックス＞
景気概況→景気は緩やかに持ち直している
景気は持ち直しているが、そのペースは緩やかである。4月下旬にかけて日経平均株価が約15年ぶりに終値で2万円を超えるなど、景気は持ち直している。しかし、そのペースは緩やかである。4月下旬にかけて日経平均株価が約15年ぶりに終値で2万円を超えるなど、景気は持ち直している。